

ダウ・ジョーンズ配当 100 指数（パート 2）：堅調なファンダメンタルズと分散効果



George Valantasis

アソシエイト・ディレクター、戦略指数
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス

この資料は、2023 年 1 月 24 日に弊社ブログ Indexology® に掲載された文書の翻訳版です。英語版と日本語版の間に内容の相違がある場合は英語版をご参照下さい。

英語版：<https://www.indexologyblog.com/2023/01/24/the-dow-jones-dividend-100-indices-part-2-strong-fundamentals-and-the-benefits-of-diversification/>

このシリーズの [パート 1](#) で説明したように、ダウ・ジョーンズ米国配当 100 指数及びダウ・ジョーンズ・インターナショナル配当 100 指数では配当の持続可能性とクオリティに基づく厳格なスクリーニングを行い、指数構成銘柄を選択しています。このことが、2022 年やその他のインフレ局面における両指数のアウトパフォーマンスにつながった可能性があると考えられます。

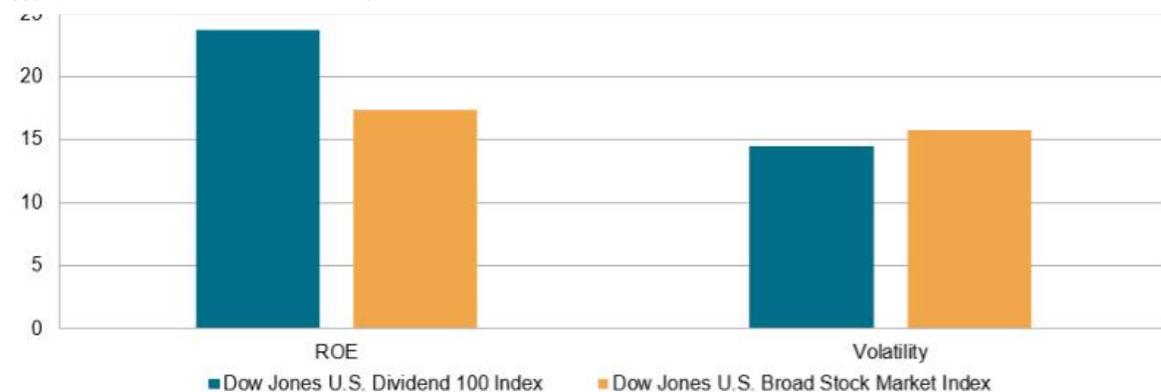
パート 2 では、これらのスクリーニングが両方の指数のファンダメンタルズに及ぼしたプラスの影響を分析するとともに、米国指数とインターナショナル指数を組み合わせた場合の分散効果についても検証します。

図表 1：バリュエーション・レシオ

Feature	Dow Jones U.S. Dividend 100 Index	Dow Jones U.S. Broad Stock Market Index	Dow Jones International Dividend 100 Index	Dow Jones Global ex-U.S. Index
Price-to-Sales Ratio	2.0	2.2	1.1	1.3
Trailing 1-Year P/E	15.0	21.6	12.0	14.1
Forward 1-Year P/E	13.1	18.1	11.6	12.3
Price-to-Cash Flow Ratio	10.6	14.0	7.8	14.8

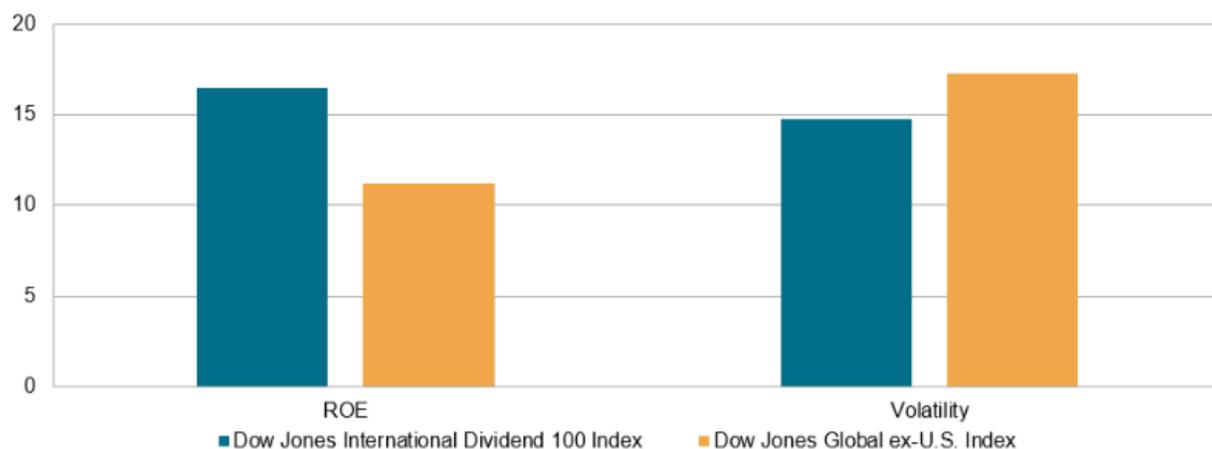
出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2022 年 12 月 30 日現在のデータ。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。表は説明目的のために提示されています。

図表 2：自己資本利益率（ROE）及びボラティリティー ダウ・ジョーンズ米国配当 100 指数とベンチマークの比較



出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2022 年 12 月 30 日現在のデータ。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されています。

図表 3：自己資本利益率（ROE）及びボラティリティー ダウ・ジョーンズ・インターナショナル配当 100 指数とベンチマークの比較



出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC。2022 年 12 月 30 日現在のデータ。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のために提示されています。

分散効果の可能性

ダウ・ジョーンズ・インターナショナル配当 100 指数とダウ・ジョーンズ米国配当 100 指数を組み合わせることにより、ボラティリティーを抑える一方で、配当利回りを高めることができる可能性があります。図表 4 は、2つの指数を一定の割合で組み合わせた場合のシナリオと、それらに基づいてシミュレートしたパフォーマンスを示しています。最初のシナリオでは、米国指数に 70%、インターナショナル指数に 30%を配分します。一方、2つ目のシナリオでは、米国指数に 80%、インターナショナル指数に 20%を配分します。

2つの指数を組み合わせた仮定ポートフォリオについて、バックテストされた期間（2005年3月に開始）のパフォーマンスを見ると、70%/30%のシナリオでは全期間の年率パフォーマンスが10.25%となり、2つの指数のベンチマークをともに上回った一方、ボラティリティは14.02%に抑えられました。80%/20%のシナリオでは、年率パフォーマンスが10.56%となった一方、ボラティリティは14.11%に抑えられました。仮説に基づくバックテスト・データを分析した結果、リスク調整後リターンと最大ドロダウンは両方のベンチマークに対して大幅に改善しました。

図表4：バックテストされたリターンおよびボラティリティの特性

Period	Dow Jones U.S. Broad Stock Market Index	Dow Jones Global ex-U.S. Index	70% Dow Jones U.S. Dividend 100 Index/30% Dow Jones International Dividend 100 Index	80% Dow Jones U.S. Dividend 100 Index/20% Dow Jones International Dividend 100 Index
Annualized Return (%)				
Full Period	9.04	4.61	10.25	10.56
YTD	-19.47	-16.60	-4.75	-4.22
1-Year	-19.52	-16.64	-4.77	-4.23
3-Year	6.95	0.17	11.11	11.81
5-Year	8.69	0.91	10.13	10.69
7-Year	10.96	4.88	12.28	12.77
10-Year	12.07	4.12	11.89	12.54
15-Year	8.68	1.90	9.37	9.93
Annualized Volatility (%)				
Full Period	15.75	17.28	14.02	14.11
Risk-Adjusted Return				
Full Period	0.57	0.27	0.73	0.75
Drawdown (%)				
Full Period	-50.84	-56.98	-45.91	-45.42

Source: S&P Dow Jones Indices LLC. Data from March 31, 2005, to Dec. 30, 2022. The Dow Jones U.S. Dividend 100 Index was launched Aug. 31, 2011. The Dow Jones International Dividend 100 Index was launched March 22, 2021. All data prior to index launch date is back-tested hypothetical data. Past performance is no guarantee of future results. Table is provided for illustrative purposes and reflects hypothetical historical performance. Please see the Performance Disclosure linked at the end of this post for more information regarding the inherent limitations associated with back-tested performance.

まとめ

[パート1](#)でも言及したように、厳しい経済環境にもかかわらず、ダウ・ジョーンズ米国配当100指数及びダウ・ジョーンズ・インターナショナル配当100指数は2022年にそれぞれのベンチマークを大幅に上回る好調なパフォーマンスとなりました。この結果は、ベンチマークに対してこれらの指数の利回りが高く、ファンダメンタルズが良好であることが一因であるように思われます。

機関投資家のみを対象とした資料であり、個人投資家向けに作成されたものではありません。

¹ <https://www.institutionalinvestor.com/article/b1wd19khdzjw89/In-an-Inflationary-Environment-Value-Stocks-Offer-a-Refuge>

このブログの記事は意見であり、助言ではありません。免責条項をお読み下さい。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス免責事項

©S & P グローバルの一部門である S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC 2023 年。不許複製。Standard & Poor's、S&P、は、S & P グローバルの一部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービシズ LLC（以下「S&P」）の登録商標です。「ダウ・ジョーンズ」は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズ LLC（以下「ダウ・ジョーンズ」）の登録商標です。商標は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC にライセンス供与されています。本資料の全体または一部の再配布、複製、そして（または）複写を書面による承諾なしに行うことを禁じます。本資料は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、ダウ・ジョーンズ、S&P 或いはそれぞれの関連会社（これらを合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス」という）が必要なライセンスを持たない地域におけるサービスの提供を行うものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC が提供する全ての情報は、個人とは無関係であり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整したものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、その指数を第三者にライセンス供与することに関連した報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表すアセット・クラスへのエクスポージャーは、指数に基づく投資可能商品を通して得られます。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、第三者が提供し、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数のリターンに基づく投資リターンを提供することを目指す投資ファンド、或いはその他のビークルを提供、推奨、販売、宣伝、或いは運用することはありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数に基づく投資商品が指数のパフォーマンスに正確に連動し、プラスの投資リターンを上げることについて保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC は投資顧問会社ではなく、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルに投資する適否に関して表明することはありません。そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルへの投資決定は、本資料で言及されたいかなる部分も信頼して実行されるべきではありません。そうしたファンド或いはその他のビークルに投資しようとする投資家に対して、投資ファンド或いはその他のビークルの発行体またはその代理人が作成する目論見書または類似文書に記載されているように、そうしたファンドへの投資に伴うリスクを注意深く検討した上で投資することを助言します。指数への証券の組入は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによるその証券の買い、売り、または保有の推奨ではなく、また投資助言でもありません。S&P の米国のベンチマーク指数及びダウ・ジョーンズの米国のベンチマーク指数の終値は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが、指数構成銘柄の各主要取引所が設定する終値に基づいて計算します。終値は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスがサードパーティ・ベンダーの 1 社から受け取り、別のベンダーから届く価格と比較することにより検証されます。各ベンダーは終値を主要取引所から受け取ります。日中の実時間価格は、2 次検証を経ずに同様に計算されます。

これらの資料は、信頼できると考えられる情報源から一般に公衆が入手できる情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されたものです。本資料に記載されるいかなる内容（指数データ、格付、クレジット関連の分析とデータ、モデル、ソフトウェア、或いはその他のアプリケーションまたはそれからの出力）も他のいかなる部分（以下「内容」という）も、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによる事前の書面による承認なくして、いかなる形式といかなる手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、再製作または配布、或いはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容を、不法な或いは未認可の目的に使用してはいけません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス及びいかなるサードパーティ・データ・プロバイダー及びライセンサー（合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者」という）も、内容の正確性、完全性、適時性やいは利用可能性を保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる過誤、遺漏についても、原因の如何を問わず、内容を用いて得られた結果について責任を負いません。内容は、「現状」ベースで提供されています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、特定の目的または利用に対する販売可能性または適合性についてのいかなる保証も、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、或いは内容が何らかのソフトウェアまたはハードウェア構成により動作することの保証も、以上を含みそれに限定されない、あらゆる明示的または暗示的保証も拒否します。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連して発生する、いかなる直接的、間接的、偶発的、典型的、補償的、懲罰的、特殊な或いは結果的な損害、費用、経費、法的費用、或いは損失に対し

ても（逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含みそれに限定されず）、たとえ損害の可能性について事前に通告を受けていようとも、責任を負いません。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各事業部の活動の独立性と客観性を維持するために、それぞれの活動を他から隔離しています。その結果、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの一部の事業部は、他の事業部では入手できない情報を保有する可能性があります。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各分析プロセスの中で受け取った非公開情報の機密を守る方針及び手順を確立しています。

さらに、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なサービスを、証券の発行体、投資顧問会社、証券会社、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲業者など多くの組織に提供しています。したがって、これらの組織から報酬その他の経済的便益を受ける可能性があります。これらの組織には、証券やサービスを推奨し、格付け評価し、モデルポートフォリオに組入れ、評価するか別の対応を行う組織が含まれます。

最新のブログ 「Indexology」 (英語) をご覧になりたい方は、こちらのサイト

www.indexologyblog.com よりご登録いただけますと、更新の都度メッセージが届きます。